

## C1「技術者倫理, 国内機械安全関連法令, 機械安全原則」講習会

(災害事例, 技術者倫理, 国内法と機械安全法令, 機械安全原則)

## 1. ねらい

「機械安全エンジニアCコース」講習会は、機械の設計技術者と品質保証管理者に学んで頂きたい技術を盛り込んだ機械安全の基本講座です。機械ユーザの生産技術の技術者および安全担当の技術者にも有益ですので受講をお薦めします。

本講習会では、機械が関わる労働災害の状況・事例説明、設計技術者として持ち合わすべき技術者倫理とコンプライアンス、国内の関係する法令と機械安全との関係性を解説します。

機械の安全についての考え方は国際的に確立しています。それらを具体的に・分かり易く解説します。安全について基本的な考え方、安全確認型システムと危険検出型、本質安全、停止と隔離による安全原則、安全性を論理的に立証する方法、用語などを解説します。

## 2. 開催日と場所および定員

- 開催日 4月22日(水) 受付:9時45分より(開室9時30分)
- 開催場所 京都テルサ  
京都府総合交流プラザ「京都テルサ」 京都府京都市南区東九条下殿田町70番地
- 定員 25名

## 3. プログラム

時刻	時間(分)	講義 No.	内容	講師, 備考
10:00 ~ 10:05	5		オリエンテーション	
10:05 ~ 11:05	60	1	第1章 技術者倫理とコンプライアンス (1) 労働災害, 機械災害の現状と災害事例 (2) 技術者倫理, 法令遵守(コンプライアンス)	
11:05 ~ 11:10	5		休憩	
11:10 ~ 11:50	40	2	第2章 関係法令 (1) なぜ労働安全衛生法を学ぶのでしょうか (2) 機械安全に係る労働安全衛生法の体系と概要	
11:50 ~ 12:40	50		昼食・休憩	
12:40 ~ 13:00	20	3	第2章 関係法令(続き) (3) 機械による労働災害の低減を図る施策 注記: 機械の包括的な安全指針とリスクアセスメント指針はC2講習にて説明します。	
13:00 ~ 14:00	60	4	第3章 機械の安全原則 (1) 安全とは (2) 産業災害を無くす為の多くの努力と国際規格 (3) 安全確認型と危険検出型	
14:00 ~ 14:10	10		休憩	
14:10 ~ 15:20	70	5	第3章 機械の安全原則(続き) (4) 本質安全, 隔離による安全, 停止による安全 (5) 安全に関する国際規格の構築, JIS規格, 国内法令と指針	
15:20 ~ 15:30	10		休憩	
15:30 ~ 16:10	40	6	第3章 機械の安全原則(続き) (6) 安全関連用語の解説	
16:10 ~ 16:50	40	7	演習問題と解答	
16:50 ~ 17:00	10		終了・退室	

本講習会Cコースは、厚生労働省通達「機械安全に関する設計技術者に対する機械安全教育カリキュラム」を完全に満たしています。

\* C1,C2,C3,C4,C5講習会及びC6,C7講習会の受講者に修了証を発行します。

## 4. 講師 当会講師

## 5. 受講お申込みと受講費用

ホームページよりお願いします。 <https://d-sostap.or.jp/apply/>  
 会員 16,500円(税込) 一般 22,000円(税込)

お問い合わせ	<b>一般社団法人安全技術普及会</b> 〒140-0011 東京都品川区東大井5-4-19 三井第3ビル TEL 03-5769-0775 FAX 03-5769-0776 Email entry@d-sostap.or.jp ホームページ <a href="http://www.d-sostap.or.jp/">http://www.d-sostap.or.jp/</a>
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------